

にぎわい創出と価値向上のエリアトータルマネジメントのためしくみ エリアマネジメントデータプラットフォーム

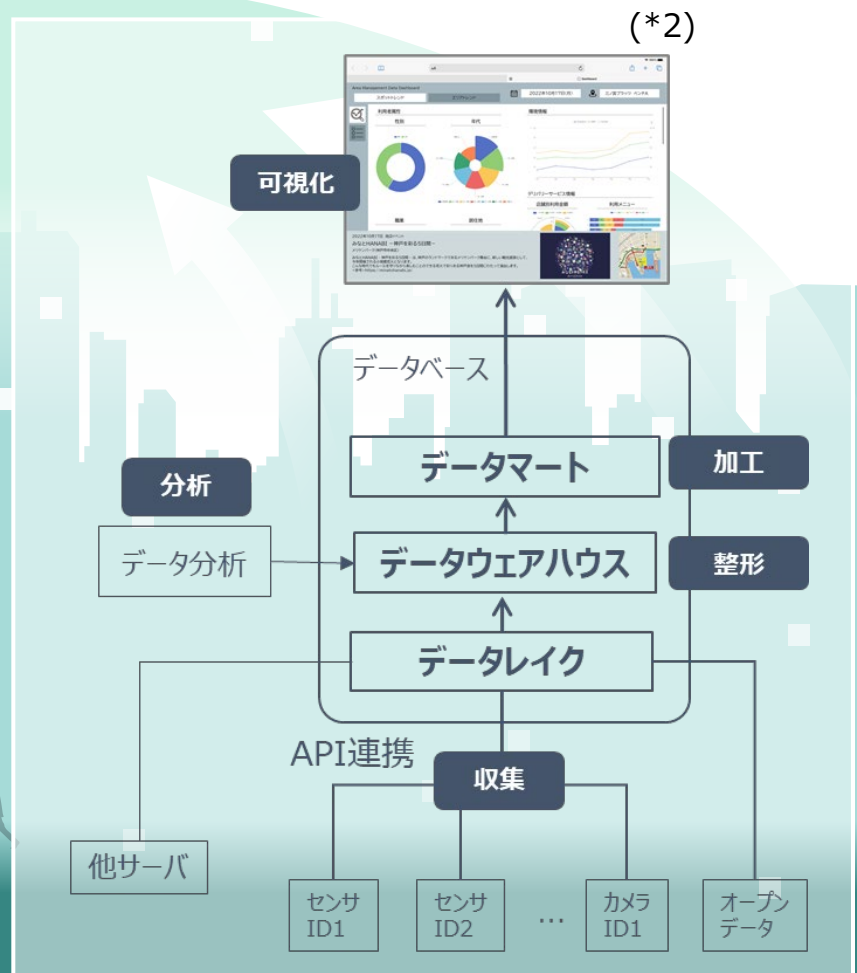
全国のエリアマネジメントにおいて価値の高いデータ連携・利活用を実現するデータプラットフォームを構築することをめざします

エリアマネジメントデータプラットフォームの特徴

- エリア内の人流・交通流・環境データを多様なセンシング機器からリアルタイムにデータ収集(*1)
- 既存のエリアサービスとAPIで柔軟に連携しデータベースを拡張
- エリア内の関係性やトレンドを時間/空間など多角的に可視化、エリアマネジメントを担う方々の施策検討を支援
- エリアの開発計画初期からまちびらき後の維持管理・再開発時にも、継続的にデータを取得し経年で分析が可能

(*1) 2022年の実証ではリアルタイムのデータ収集は実施いたしません。

(*2) 可視化画面はイメージです。



エリアのにぎわいを多角的に可視化する Area Management Data Dashboard

<スポットトレンド>



- エリアサービスの利用者属性や各スポットの温度やWBGT(暑さ指数)等をグラフ表示します
- 周辺で開催されていたイベント情報を併せて確認できます

※画面はイメージです。実際のデータではございません。

<エリアトレンド>



- 当該エリアの混雑状況やスポットの環境状況を地図上でアイコン表示し、人と環境の状況を空間軸で可視化します

※画面はイメージです。実際のデータではございません。

